

Weekly report

MINKABU
THE INFONOID

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド
東京都千代田区九段北1-8-10

今週の注目材料 = 大幅利上げにつながる米物価高傾向は継続へ

2022年5月6日

11日に4月の米消費者物価指数(CPI)が発表されます。前回3月のCPIは前年比+8.5%、食品とエネルギーを除いたコアCPIの前年比が+6.5%となりました。CPIは1981年12月以来40年超ぶりの高水準。コアCPIも1982年8月以来の高水準となっています。このCPIの好結果を受け、先月29日に発表された米個人消費支出(PCE)デフレータは1982年1月以来となる前年比+6.6%、同コアデフレータは前年比+5.2%となり、インフレターゲットである+2.0%をはるかに上回る状況となっています。

こうした歴史的な米国の物価上昇傾向が、先週の米連邦公開市場委員会(FOMC)での0.5%利上げにつながりました。米国が0.5%の大幅利上げに踏み切ったのは2000年5月以来です。市場ではFOMC前まで今後さらに利上げ姿勢が強まり、6月のFOMCで0.75%の利上げに踏み切るという見通しを強めていました。こちらについてはFOMC後の会見でパウエルFRB議長が消極的な発言を行い、今後数回のFOMCでの0.5%利上げ方針を示したことで、期待が後退しています。ただ、金利先物市場動向を見ると、まだ0.75%の利上げ期待が残っている状況。市場の物価高への警戒感が強いことが示されています。

前回の消費者物価指数の内訳を確認すると、ウクライナ情勢を受けて原油価格が上昇していることを受けて、ガソリン価格が前年比+48.0%となっており、全体を押し上げているのがわかります。前月比でも+18.3%となっており3月の原油価格上昇の影響が強く出ています。次に目立ったのが食品価格の上昇です。前年比+8.8%となっており、ここに来ての食品価格上昇の勢いが感じられます。特に家庭用食品が前年比+10.0%となっており、家計への影響が懸念されました。

ガソリンと並んで直近の物価高騰につながっている自動車価格は、中古車が+35.3%、新車が+12.5%と、こちらも上昇傾向が続いています。ただ、前月比では中古車が-3.8%と2月から低下、新車も+0.2%と小さな伸びにとどまっており、供給不足からの価格高騰の流れがようやく落ち着いてきたかと期待されました。

その他、住居費が+5.0%と伸びており、食料品、米国では生活必需品である車及びその維持費などと並んで、家計に対する物価高圧力が強まっているという印象が強い状況となっていました。

今回はCPIが+8.1%と依然8%台の高い水準が見込まれるものの、前回の+8.5%からは鈍化見込み。コアCPIも+6.1%と前回の+6.5%から伸びが鈍化する見込みです。米クリーブランド連銀によるInflation Nowcasting(物価最新予測)でも、5月6日時点でCPIが+8.14%、コアCPIが+6.12%と市場予想とほぼ一致しています。

EIA(米エネルギー省エネルギー情報局)による全米全種平均のガソリン小売価格を見ると、3月の1ガロン当たり4.222ドルから4月は4.109ドルと、2.7%の低下を見せており、物価高圧力が少し収まると期待されます。もっとも昨年4月の2.858ドルと比べると43.8%の上昇となっており、今回のCPIでも全体の押し上げ要因となりそうです。

前回は少し抑えられた自動車価格についても、4月は在庫の逼迫から新車販売台数が前年比-23.8%となる見込みが示される状況となっており、上昇傾向が継続しそうで

す。

食品価格も、イースターで需要が高まった鶏卵及び同関連食品について、2月にインディアナ州で始まった鳥インフルエンザが広がり2015年以来の深刻な状況となっていることを受けた価格高騰もあって、かなり厳しい状況が見込まれています。

こうした動きから、市場予想前後の数字は十分に見込まれるところ。前年比の比較対象元である2021年の数字が、3月から4月にかけて上昇している分、前回からは伸びが鈍化も、高い水準での推移が続く見込みです。

物価高傾向の継続は米国の大幅利上げ期待に繋がり、ドル買いの材料となります。あの程度は織り込み済みとはいえ、ドル円の上昇基調を支える形となりそうです。

山岡和雅 | MINKABU PRESS編集部

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後GCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。